

# GUIDEBOOK 2026

IMAGINE  
THE  
FUTURE.

AC入試・特別入試

P.02 AC入試

P.04 国際バカロレア特別入試

P.04 国際科学オリンピック特別入試

P.05 海外教育プログラム特別入試

P.05 研究型人材入試



筑波大学  
*University of Tsukuba*

# 2026年度 学群・学類の定員と募集人員

学群	学類・専門学群	入学定員	個別学力検査等				推薦入試	アドミッションセンター入試	国際バカロレア特別入試		国際科学オリンピック特別入試	海外教育プログラム特別入試	研究型人才入試	外国学校経験者特別入試		留学生等プログラム特別入試 <sup>*2</sup>	学際サイエンス・デザイン専門学群入試
			前期日程		後期日程	7月募集			10月募集	【第1種】 私費外国人留学生等長期就学者				【第2種】 帰国生徒等短期就学者			
			(総合選抜)入試区分別	(総合選抜)入学者の2年次受入予定人数											(学類・専門学群選抜)		
人文・文化学群	人文学類	120	30	45	20	15	5	若干					5				
	比較文化学類	80	20	35		16	5	若干					4				
	日本語・日本文化学類	40	10	10		14	3	若干							3		
社会国際学群	社会学類	80	20	40		16		若干							4		
	国際総合学類	80	20	36		20		若干							4		
人間学群	教育学類	35	4	20	2	7		若干	若干				1	1			
	心理学類	50	6	26	3	12 <sup>*1</sup>		1	若干				1	1			
	障害科学類	35	4	16	2	11		若干	若干				1	1			
生命環境学群	生物学類	80	20	18	12	22	3		若干				若干	若干	5		
	生物資源学類	120	23	49	15	27			若干				若干		6		
	地球学類	50	13	21	4	10			若干					2	若干		
理工学群	数学類	40	10	20		8			若干				2				
	物理学類	60	15	20	8	14			若干				3				
	化学類	50	13	18	5	12			若干	若干			2				
	応用理工学類	120	30	49	19	16			若干						13		
	工学システム学類	138	35	56	20	20			若干				若干				
	社会工学類	120	30	60	12	12			若干				6				
情報学群	情報科学類	86	22	40		12	8		若干	若干			4	若干			
	情報メディア創成学類	54	16	20		10	5		若干	若干			3				
	知識情報・図書館学類	100	40			10	40	5		若干			5				
医学群	医学類	98	5	44 地域枠 <sup>*3</sup>		44 地域枠 <sup>*3</sup>			3			2	若干				
	看護学類	70	2	37		28			若干						3		
	医療科学類	37	10	12		10			若干				5				
体育専門学群	240				130	90	8		若干				12				
芸術専門学群	100		5	45	10	35			若干				5	若干			
学際サイエンス・デザイン専門学群	40															40	
合計		2,123	403	867	142	521	42	4+ 若干	若干	2	若干	64+若干	38+若干	40			

\*1 人間学群心理学類の推薦入試は、大学入学共通テストを課します。

\*2 「学群英語コース特別入試」「Japan-Expert (学士) プログラム特別入試」「地球規模課題学位プログラム (学士) 入試」「総合理工学位プログラム (学士) 入試」を合計した数を示します。

\*3 地域枠については、国との協議によって、募集の有無及び定員が確定次第、本学ホームページにて公表します。

# AC入試（アドミッションセンター入試）

- ☑ 自己推薦型（書類＋面接）の入試です。
- ☑ 自分で課題を見つけ、解決する能力を評価します。
- ☑ 現役生、過年度生、社会人。大学入学資格を持つ方を広く対象としています。

## 【過去の実績】

	募集人員	志願者数	合格者数
2025年度	43人	361人	39人
2024年度	45人	318人	47人
2023年度	45人	306人	41人
2022年度	45人	247人	41人
2021年度	45人	284人	41人

## ● アドミッション・ポリシー

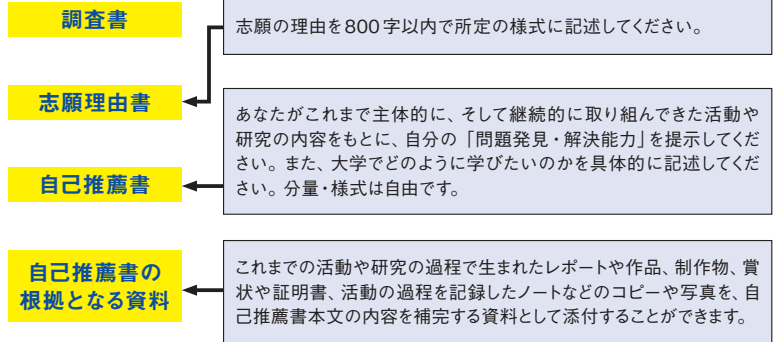
志願者の主体的で継続的な取り組み（最近2年間、又はそれ以上の長期間にわたるもの）から「問題解決能力」を評価します。この入試の合格者にふさわしい志願者がいないと判断した場合は、募集人員どおりに合格者を決定することにはせず、個別学力検査等（前期日程）の募集人員によって、その人員を充足します。以下の各学類・専門学群のアドミッション・ポリシーと併せて評価します（最新のアドミッション・ポリシーは学生募集要項で確認してください）。

## ● 自己推薦資料テーマ例

近年のAC入試で合格した先輩たちの自己推薦資料テーマです。AC入試は今まで行ってきた活動や研究に基づく自己推薦内容を評価する入試です。これらの例にとらわれず、思い切ってチャレンジしてみましょう。

## ● 第1次選考（書類審査）

次の書類を審査し、第1次選考合格者を決定します。



## ● 第2次選考（面接・口述試験）

第1次選考の合格者に対し、30分程度の個別面接を実施します（必要に応じて延長される場合があります）。あなたが「自己推薦書」などで示したことを、あなた自身の言葉でさらに詳しく説明してください。大学で学びたいことについてのこれまでの学習状況などを具体的に話してください。

実施学群・学類	アドミッション・ポリシー	募集人員	自己推薦資料テーマ例
人文・文化学群	人文学類	5	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ ドイツでのマイノリティ経験から</li> <li>■ 宗教的輸血拒否の背景・現状から「患者の自律」へ</li> <li>■ 伊勢原市の道祖神</li> <li>■ 言語を通して時間を紐解く</li> </ul>
	比較文化学類	5	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 日米の音楽教育の比較研究</li> <li>■ 現代思想から考えるオタク文化の公共性</li> <li>■ 山岳信仰と伝承文化との出会い</li> <li>■ 内なる現代優生思想と共生社会への歩み</li> </ul>
	日本語・日本文化学類	3	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 若者言葉のこれまでとこれから</li> <li>■ 俳句における循環性と一回性</li> <li>■ 「やさしい日本語」による多文化共生の実現</li> </ul>
生命環境学群	生物学類	3	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 猛禽類の生態に関する研究</li> <li>■ オウトウショウジョウバエの研究</li> <li>■ センチュウの記憶と学習</li> <li>■ エチレンがアリルイソチオシアネート生成量に与える影響</li> </ul>
情報学群	情報科学類	8	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 情報セキュリティ関連ツールの開発</li> <li>■ 学園祭ホームページの作成と運営管理</li> <li>■ VRからたと英単語アプリの開発</li> <li>■ LLMを用いたトランスパイラの正確性向上とその評価</li> <li>■ 組合せゲーム理論とデータ解析AIの研究</li> <li>■ LLMのためのコンテキスト圧縮エンコーダ開発</li> </ul>
	情報メディア創成学類	5	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 気象観測システムの開発と技術・デザイン活用</li> <li>■ AIを用いた動画生成ソフトウェアの開発</li> <li>■ ARを用いたまち歩きアプリの開発</li> </ul>
	知識情報・図書館学類	5	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 競争力のある日本の農業の在り方</li> <li>■ 互いを尊重し合えるインターネットの実現に向けた諸活動</li> <li>■ 地方創業の活性化を目指した企業支援者としての取り組み</li> <li>■ 新聞離れが進む世代に読まれる学校新聞を目指して</li> </ul>
体育専門学群		8	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 陸上混成競技で高得点を獲得する</li> <li>■ モダンダンスにおけるターンの成功率と呼吸との関連性</li> <li>■ 競技フットサルでゴールの決定率を上げる研究</li> <li>■ 靱帯損傷予防のためのリスク要因研究</li> <li>■ 三段跳のパフォーマンス向上とその要因の分析</li> </ul>

AC入試合格者

活躍する先輩たち

一般入試では  
表現できない自分を  
表現できるAC入試

茨城県立土浦第二高等学校  
数学科教諭

平良 裕人さん

理工学群数学類 2013年3月卒業

### 数学が情報かで迷ったが 最終的には“好き”を優先

高校3年の最後の最後まで、受験に向けた勉強にはまったく身が入りませんでした。ただ、受験という枠さえ外してしまえば、自分の興味にしたがって物事を追求していくことは好きでした。例えば高校2年でパソコンを日々の学習に用いるようになって、教科書に載っている数式をコンピュータでグラフ化したり、変数を動かすことで最大値や最小値の変化を視覚化したりすることに興味を惹かれ、受験勉強そっちのけで取り組むようになりました。

こうした自主研究(?)を通じて、数式が表す世界や概念といったものを多様な角度から理解できるようになったことで数学が好きになると同時に、その具現化ツールとしてのコンピュータにも興味を抱くようになりました。そのため、進路選択では数学が情報かでかなり悩みました。情報に進んで手に職をつけた方が就職に有利だろうという感覚がある一方で、好きな数学の道に進まないことで後悔するのではないかという思いもあり、ギリギリまで迷っていました。

そんなときAC入試の存在を知ったのです。自分の好きなことや取り組んできたことを評価してもらえる試験なのであれば、好きという気持ちを存分に表現できるのではないかと思い、理工学群数学類\*を志望することにしました。

※現在は募集していません。

### 数学者を志すと決め 大学へも突撃訪問!

数学の緻密な体系に興味を惹かれたこともあり、数理論理学の研究者になると決め、その専門家である筑波大学の先生をアポイントも取らないで訪問したり、洋書を含む数学系の蔵書を見学させてもらいに都内の大学を訪ねたりしながら、その思いを志望理由書にまとめました。また活動報告書では、コンピュータによる関数グラフのシミュレーションの研究過程や、仲間と参加した「全国物理コンテスト 物理チャレンジ」の経験、高1から取り組んできた科学部での活動実績などをまとめ、自分がどんなことに興味を持って高校生活を送ってきたのかがストレートに伝わるよう工夫しました。

物理的な内容が多い活動報告だったこともあり、面接では「なぜ物理学類ではなくて数学類を志望したのか」と問われましたが、数学をツールとして使うのではなく、数学の理路整然としたきれいな体系を追求したいからだと答えた記憶があります。純粋な数学研究ではないにしろ、何かを一途に探究していく姿勢や、計算機を用いて現象や定理などを異なる側面から捉えようとする視点などを評価してもらえたのではないかと思います。

勉強への積極性や好奇心、探究心、粘り強さ、学習の工夫など、一般入試では表現できないものを見してくれるAC入試は、いわゆる“受験勉強”に飽き足らない高校生にはメリットの大きな入試だと思います。

### 大学でのプログラミングとの出会いが 現在に生きている

大学入学後も高校時代と同じく、興味の赴くままに学ぶ姿勢は変わりませんでした。大学の授業は私にとってどれも楽しく、どの授業も必ず一番前の真ん中の席に座って受講しました。ずっと数理論理学志望でしたが、大学1年ときの情報処理の授業でプログラミングの面白さを知ったこともあり、最終的には数理論理学ではなく情報数学のゼミに進み、組合せゲーム理論を卒業研究のテーマにしました。

就職活動もしましたが、最後まで明確な職業像がイメージできないまま、就職先を決めずに卒業してしまいました。ただ、人に教えるのは好きで、高校時代の担任からも教員に向いていると言われていたこともあり、教員免許状は取得していました。そこで、数年間は地元沖縄の中学校で臨時教員を務め、教員採用試験に合格してからは中学校の本務教員として働くようになりました。やがてもっと新しい教員の世界があるのではないかと思うようになり、思い切って大学時代を過ごした茨城県の教員採用試験を受けて合格し、現在に至っています。

数学科の高校教員としては、大学入試問題を解く力を生徒に身につけさせることも大切ですが、個人的には数学の楽しさ、奥深さをもっと生徒に知ってもらいたいと思っています。そのため、数学の授業でも可能な限り得意なプログラミングを使って、数学への興味・関心を喚起させるような工夫をしています。

昨年、県の企業研修プログラムに参加し、1年間学校現場を離れて民間企業の一社員として働く経験をしました。学校とはまた違う意味での厳しさを体験し、仕事に対する向き合い方や学びに対する意識を大きくアップデートさせることができました。今後は、情報環境整備を校務として進めながら、数学や情報の世界を通して生徒の成長に貢献し続けていきたいと考えています。



「自分ではどんな風に考えたの」「その考え方で解くならば、この後こうするといんじゃないかな?」生徒の自由な発想を大切に、生徒と一緒に考える指導を心掛けています。



将来、生徒が数学を生かして問題解決できるような複合的な題材を見つけ、生徒に伝えています。(図は、数学の「ベクトル」とプログラミングとの関わりを紹介している様子)

# 国際バカロレア特別入試

全学で実施



筑波大学では、国際バカロレアにかかる活動を支援するとともに、探究心をもって主体的に学び、信念をもって物事に挑戦し、世界的に活躍できる人材を育成するための入学試験として、全学で国際バカロレア特別入試を実施します。

## ● アドミッション・ポリシー

国際バカロレア資格を取得した者を対象として、主体的に学ぶための知識や思考力、明確な目標をもって学ぶ意欲、また、語学力を含めたコミュニケーション能力などを重視して入学者を選抜します。



国際バカロレア  
「10の学習者像」

国際バカロレア資格を取得したものを対象とした1回目（7月募集）と、国際バカロレア資格を取得した者及び取得見込みの者を対象とした2回目（10月募集）の、2回の入試を実施します。1回目（7月募集）に出願した者は2回目（10月募集）に出願することはできません。

**【2025年度合格者出願先】** 社会学類、国際総合学類、生物資源学類、化学類、工学システム学類、医学類、看護学類、芸術専門学群

## 【過去の実績】

	7月募集		10月募集	
	志願者数	合格者数	志願者数	合格者数
2025年度	6人	1人	47人	8人
2024年度	9人	3人	36人	7人
2023年度	15人	6人	27人	7人
2022年度	4人	2人	34人	9人

### 1回目(7月募集)

対 象	国際バカロレア資格を取得した者
選 抜 方 法	第1次選考／書類選考 第2次選考／面接・口述試験
出願期間	7月上旬～7月中旬
第1次選考合格発表	8月上旬
第2次選考	8月下旬
第2次選考合格発表	8月下旬
募集学類	●教育学類 ●心理学類 ●障害科学類 ●医学類

### 2回目(10月募集)

対 象	国際バカロレア資格を取得した者及び取得見込みの者
選 抜 方 法	第1次選考／書類選考 第2次選考／面接・口述試験、小論文、実技等 (学類・専門学群ごとに設定)
出願期間	10月上旬(スコア提出10月下旬)
第1次選考合格発表	10月下旬
第2次選考	11月下旬
第2次選考合格発表	12月中旬
募集学類	すべての学類・専門学群

詳細は、筑波大学のホームページをご覧ください。

# 国際科学オリンピック特別入試

## 世界の科学技術をリードする人材をめざして

世界中の中等教育課程にある生徒（日本では主に高校生）が参加する、世界的な科学技術コンテストである「国際科学オリンピック」。

国際科学オリンピック特別入試は、同大会に日本代表として選抜された人、代表選考などで一定の成績を収めた人が対象となる入試です。明確な目的を持って学ぶ意欲や計画的に学ぶ意欲を、従来の試験とは違う観点から評価します。

## ● アドミッション・ポリシー

国際科学オリンピックに出場した者、またはその代表者選考会等において一定の成績を収めた者を対象として、明確な目標を持って学ぶ意欲や計画的に学ぶ意欲を評価して選抜します。

## 入試概要

### 【過去の実績】

	志願者数	合格者数
2025年度	5人	2人
2024年度	1人	1人
2023年度	3人	1人
2022年度	3人	2人
2021年度	4人	4人
2020年度	5人	2人

### 募集学類

●化学類 ●情報科学類 ●情報メディア創成学類

### 対象となるオリンピック

●化学 ●情報 ●その他

### 選抜方法

エントリーシートに基づいて、15分程度の個別面接により行います。

各学類の出願要件は募集要項で確認してください。

# 海外教育プログラム特別入試

医学群医学類で実施

筑波大学では、海外留学を支援するとともに、探究心をもって主体的に学び、信念をもって物事に挑戦し、世界的に活躍できる人材を育成するための入学試験として、帰国生徒や私費外国人留学生を対象とした海外教育プログラム特別入試を実施します。対象は、アビトゥア、普通バカロレア、GCE Aレベル、SAT、APを履修・受験した者です。

## 募集学群・学類、募集人員

医学群医学類：2名

## 選考方法

### ■第1次選考

出願時に提出された各教科の成績評価や書類等により、第1次選考合格者を決定します。

### ■第2次選考

第1次選考の合格者に対して面接・口述試験を行い、提出書類等の内容を含めて総合的に判定します。

## 【過去の実績】

	志願者数	第1次合格者数	合格者数
2025年度	13人	2人	1人
2024年度	10人	3人	1人
2023年度	13人	2人	0人
2022年度	18人	4人	1人
2021年度	5人	1人	1人
2020年度	10人	3人	2人
2019年度	8人	3人	1人

アドミッションポリシーや出願資格の詳細については、募集要項で確認してください。

# 研究型人材入試

医学群医学類で実施



筑波大学では、自然科学において自ら発見した課題に対し、主体的かつ継続的に取り組み、その結果、到達した高い成果を評価する新たな入学者選抜を実施します。対象は、日本学生科学賞等で優秀な成績を収めた者、国際科学オリンピック等で優秀な成績を収め、自らも研究を行った者等の中で、将来研究者を目指す者です。

## ● アドミッション・ポリシー

広い基礎学力に加えて、自ら発見した自然科学の課題に対し、自主的かつ継続的に取り組み、その結果、到達した高い成果を評価します。また、医学を志向する動機、修学の継続性、研究者としての適性・資質、社会的適応力等総合的な人間性についても評価します。

## 募集学群・学類、募集人員

医学群医学類：若干名

## 対象となるコンテスト等

①日本学生科学賞、高校生科学技術チャレンジ、科学の芽賞において一定以上の成績を収めた者、②国際科学オリンピックや科学の甲子園において一定以上の成績を収め、理系の研究を行った者、③理系の学術論文を執筆した者、④番号①と同等又はそれ以上の優れた理系の研究を行った者（詳細は募集要項を参照）。

## 【過去の実績】

	志願者数	第1次合格者数	第2次合格者数	合格者数
2025年度	3人	1人	1人	0人
2024年度	3人	1人	1人	0人
2023年度	6人	3人	2人	0人
2022年度	7人	4人	1人	1人
2021年度	7人	2人	1人	1人
2020年度	4人	1人	1人	0人

## 選考方法

### ■第1次選考

出願時に提出された書類等により、第1次選考合格者を決定します。

### ■第2次選考

第1次選考合格者に対して面接・口述試験および適性試験を行い、提出書類の内容を含めて総合的に判定します。

### ■最終選考

第2次選考合格者のうち、大学入学共通テストの得点が原則として8割以上の者を合格とします。

1年生から  
研究できる!

## 先導的研究者体験プログラム (ARE)

筑波大学には、入学後も高校時代の研究を継続できる環境があります!



先導的研究者体験プログラム (ARE) は、全学群の1～3年生が応募できる研究活動支援プログラムです。研究計画書を提出し、採択されれば、研究費と研究場所提供されます。スーパーサイエンスハイスクール (SSH) での研究活動、理科や総合的学習における自主的な課題研究など、大学入学前から科学的な研究を行ってきた人はもちろん、大学進学後には研究活動をしたと考えていた人も、文系・理系を問わず応募してください。

## 【過去5年間の申請および採択件数】

	申請数	採択件数(人)
2024年度	48件	43件(43人)
2023年度	69件	59件(59人)
2022年度	52件	42件(42人)
2021年度	63件	58件(58人)
2020年度	62件	58件(58人)

詳しくはWebをご覧ください。  
<https://www.are.tsukuba.ac.jp>

## AC入試Q&A

### Q. AC入試の選考で重視されるのはどんなことですか

#### A. 志願者の問題発見・解決能力を、最も重視します。

提出された自己推薦資料の内容をもとに、志願者の主体的・継続的な活動の中で、どのような問題の発見と解決があったのかを評価します。その際、活動の実績そのものを重視するのではなく、志願者がどのような工夫によってその実績を上げたのか、また、その実績をどのように認識しているのかを重視します。すなわち、結果に至る過程や、活動の「質」が重要になります。また、志願者が大学で学びたいことが、志願する学類・専門学群で学習可能か、志願先の研究教育内容と志願者の目的とが合致しているか、ということも重視します。人物評価の入試ではありません。

### Q. 問題発見・解決能力のある人とは、具体的にどういう人ですか

#### A. 主体的な興味や関心から、自分自身の問題意識を育て、その解決に向けて独自の視点から工夫や努力を続けている人です。

例えば、物理や化学の実験、歴史の研究、生物の観察などを続ける過程で、自分自身の問題意識をもち、さまざまな工夫しながらその問題に取り組んできた人です。また、生徒会活動、課外活動、ボランティア活動などの中で独自の問題意識を育て、解決に向けて工夫を続けてきた人です。このような人には「主体的に学ぶ力」という大切な学力が備わっていると考えられます。AC入試では、志願者がそうした活動を続ける中で、何をどう考え、どう行動したのかを評価します。過去の合格者の自己推薦内容はwebページでも公表しています。

<https://ac.tsukuba.ac.jp/guidebooks/>

### Q. 出願するにはコンテストや競技会での入賞歴や何らかの資格取得、検定合格などが必要ですか

#### A. 必要ではありません。

AC入試は資格や実績そのものを評価する入試ではありません。資格や実績の有無にとらわれず、これまでの自分の活動（研究、課外活動、趣味など）における問題の発見と解決の過程を具体的に提示することが大切です。問題解決の過程で取得した資格や合格した検定、入賞歴などがあれば自己推薦の資料に加えることはできます。その資格や検定が自分の活動の中にどう位置づけられるのか、きちんと説明できることが大切です。ただし、体育専門学群では運動競技の実績を、他の資料とともに重視して評価します。競技の実績がまったくなければ合格はさきめて困難です。

### Q. SSH※などの共同研究の成果を自己推薦に利用できますか

※スーパーサイエンスハイスクール

#### A. 利用してもかまいません。

ただし、その共同研究において志願者本人が担当した部分や、志願者本人の具体的な貢献を、自己推薦書の中で明確に示す必要があります。他のメンバーが担当した部分や、他のメンバーが成し遂げた問題解決とはっきりと区別して、志願者本人の問題発見・解決能力が読み取れるように提示してください。

### Q. 国際科学オリンピックでの成績は評価の対象になりますか。

#### A. AC入試は実績そのものを評価する入試ではありません。

志願者の活動における問題発見・解決の過程を重視して評価します。一方、国際科学オリンピック特別入試は実績を重視して評価します。

### Q. 高校の成績（評定平均値）は重視されますか

#### A. 主として、入学後、支障なく学習できるかどうかを確認するために使われます。

合格者には、結果的に成績がよい人が多くなっていますが、出願要件ではありません。

### Q. なぜ、募集時期、選考時期が早いのですか

#### A. AC入試は、志願者の継続的な活動における問題発見と解決の過程を評価する試験であり、試験当日の偏差値的学力を評価するわけではありません。

したがって高校3年の早い時期でも適切な選抜が可能であると考えられます。「早く進路を決めて、入学までの時間でさらに自分の勉強を進めたい」という志願者を求めているのです。また、早めに実施することで、大学入学共通テストや個別学力検査への影響を最小限にできると考えています。決して早く学生を確保することが目的ではありません。このことは、合格者数が必ずしも募集人員を充たさないことから分かるものと考えています。

### Q. 必ず募集人員どおりに合格者が決まりますか

#### A. いいえ。

ふさわしい志願者がいないと判断した場合は、合格者が募集人員より少なくなり、欠員分は個別学力検査等（前期日程）に振り替えられます。一方、AC入試で募集人員より多く合格することもあります。その場合でも、個別学力検査等（前期日程）の募集人員が減ることはありません。

### Q. 筑波大学の推薦入試等と併願できますか

#### A. 推薦入試や個別学力検査等（前期・後期日程）と併願できます。

国際科学オリンピック特別入試、国際バカロレア特別入試、海外教育プログラム特別入試、研究型人材入試とは併願できません。

## 国際科学オリンピック特別入試Q&A

### Q. 出願できるのはどのような人ですか？

#### A. 過去3年間に、国際科学オリンピックに日本代表として選抜された人や、国内予選で好成績を収めた人などです。

詳しくは学生募集要項（6月下旬公表）でご確認ください。

### Q. 選考で重視されるのはどんなことですか？

#### A. 予選や本選での成績に加え、明確な目的意識や計画的に学ぶ意欲、入学後に必要となる学習適応性などです。

調査書やエントリーシート、15分程度の面接などを含めて総合的に合否を判定します。大学入学共通テストは課しません。

### Q. 筑波大学の推薦入試等と併願できますか？

#### A. 推薦入試や個別学力検査等（前期・後期日程）と併願できます。

AC入試、国際バカロレア特別入試、海外教育プログラム特別入試、研究型人材入試とは併願できません。

## 国際バカロレア特別入試Q&A

### Q. 国際バカロレア最終試験のスコアは何点以上で合格できますか？

#### A. スコアだけで合否を判定しません。

EE、TOK、CASの成果などに関する提出書類や、面接・口述試験と併せて総合的に判定します。

### Q. TOEFL等、英語の4技能検定試験の結果も提出するのですか？

#### A. 英語を履修していれば必要ありません。

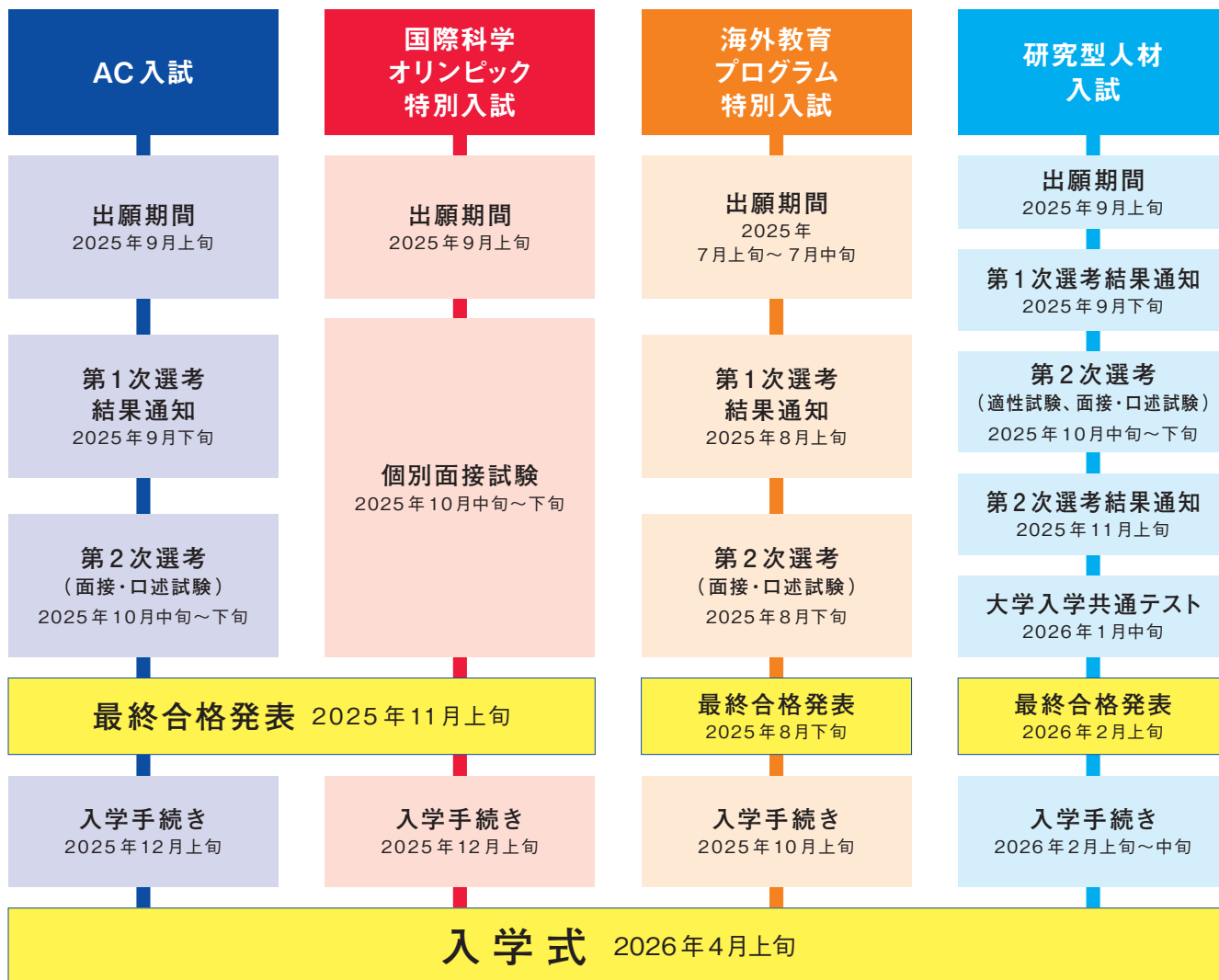
履修していない場合の扱いは教育組織ごとに異なりますので、募集要項でよく確認してください。

### Q. 10月応募の選考方法はどのようなものですか？

#### A. 教育組織ごとに設定します。

小論文や実技、適性検査など、学類・専門学群ごとに異なります。募集要項でよく確認してください。

## 入学への歩み



\*国際バカロレア特別入試(7月募集、10月募集)の日程については04ページを参照してください。

## 学生募集要項の入手方法

各学生募集要項(願書)は、本学の大学入試情報サイトからダウンロードできます。

<https://ac.tsukuba.ac.jp/apply/application-guidelines/>  
(HOME ▶ 受験する ▶ 入試日程と募集要項)

その他、入試に関する資料の請求方法はこちらをご覧ください。

<https://ac.tsukuba.ac.jp/guidebooks/>  
(HOME ▶ 各種資料)



インターネット出願登録ページはこちらからアクセスできます。  
(登録は出願期間のみ可能です)

<https://e-apply.jp/ds/tsukuba/>

ガイダンス・進学相談についてはこちら

▶ <https://ac.tsukuba.ac.jp/consultation/>

## 2025年度 筑波大学 オープンキャンパス

<https://ac.tsukuba.ac.jp/opencampus/>

### 実施日程

夏 2025 **7/26**± **7/27**日 **8/2**±

秋 2025 **11月** (学園祭期間中、大学概要説明のみ)

春 2026 **3月末**

実施方法、申込時期等については決定次第、本学ホームページで公表します。

その他、アドミッションセンター教員によるオンライン進学相談(大学院への進学相談を除く)や、各種進学説明会などの情報は、大学入試情報サイトでご確認ください。



アドミッションセンター

〒305-8577 茨城県つくば市天王台 1-1-1  
TEL.029-853-7385 FAX.029-853-7392  
<https://ac.tsukuba.ac.jp>

詳細は筑波大学ホームページへ

筑波大学 で 検索